

令和3年11月10日

高校へのアンケート調査結果 (2021年)

IR室

標題の件、以下のとおり結果をご報告いたします。

アンケートを依頼し、回収できた高校は20校（昨年度は14校）。

昨年同様、アンケート調査は短期大学評価基準に則って実施した。

基準Ⅰ-C-1(5)「自己点検評価活動に高等学校等の関係者の意見聴取を取り入れている」

基準Ⅱ-A-5(9)「入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検している」

アンケート結果の概要は以下の通り。

1. アンケート内容

別紙のとおり

2. 回答高校の内訳

都立などの公立校6校、私立校14校。

3. 回答いただいた先生方（進路指導担当）

・男性18人、女性2人。

・年齢別では20歳代2人、30歳代4人、40歳代8人、50歳代4人、60歳代2人。

・高校教員歴は

1～3年未満2人、3～5年未満なし、5～10年未満3人、10年以上15人

・担当教科は

数学4人、英語3人、国語4人、地歴公民5人、社会2人、商業1人、理科1人

全体像としては、「教員歴の長いベテランの男性の先生方」という印象

4. 本学に期待すること（複数回答可）

①美容知識・技術の習得	18人
②基礎・基本の徹底	7人
③学生の個性を伸ばす教育、社会の変化に対応した教育	各6人
④教育施設設備の充実	5人
⑤幅広い学習内容の充実	4人
⑥学力の向上、4年制大学への編入支援、生涯学習の場の提供	各2人

5. 本学において期待する学修成果（自由記述）

・学生の将来像に沿ったスキル修得

- ・幅広い知識、技術を持った美容師
- ・美容技術+短大生としての教養
- ・キャリア形成・生徒の自己実現を支える
- ・進路選択の多さ
- ・業界で信頼される人材の育成
- ・社会で生きていくための人間力育成
- ・職業教育
- ・確実な美容技術の修得、希望進路への就職
- ・継続力
- ・創造性の拡大と実学の両立
- ・学生の希望に沿った就職率の高さ
- ・学生が志望する職業に就き、そこで充実した生活を送るための知識・技能・人間性の育成
- ・志望の進路（就職）の実現
- ・技術の習得と高いサービスの提供（コミュニケーションも含む）
- ・就職率の高さ

6. 前述の学修成果の達成度

(1:大いに達成、2:達成、3:どちらとも言えない、4:あまり達成されていない
5:全く達成されていない)

17校平均で2.5(3校は記述なし)。

7. 高校の学びが本学での学びにつながっているか

(1:とてもそう思う、2:そう思う、3:どちらとも言えない、4:あまりそう思わない
5:全くそう思わない)

20校平均で2.7

8. 本学のアドミッションポリシーの適切性

(1:とてもそう思う、2:そう思う、3:どちらとも言えない、4:あまりそう思わない
5:全くそう思わない)

19校平均で1.7と高い評価をいただいた。(1校は記述なし)

9. 本学のアドミッションポリシーへの意見(自由記述)

- ・大学と同程度とまでは言わないが、一般教養を身に付ける講義の開講、増設を希望します。
- ・求める学生像の中で、最初の項目に国語と英語の力を求めている点、その意図を知りたい
- ・人としての基本的資質をベースにされていて共感できます
- ・もっと具体的な内容にすると良いのではないのでしょうか
- ・丁寧で真面目なアドミッションポリシーだと思う。大学のカタゴリーで言うとシンプル。
- ・多様性に関しては記述があっても良いかと思います。

10. 本学の入試方法の適切性

(1: とてもそう思う、2: そう思う、3: どちらとも言えない、4: あまりそう思わない
5: 全くそう思わない)

20校平均で1.9。

11. 本学の入試への意見（自由記述）

- ・専門学校は容易に入学できる状況で、短期大学に入学するメリットが専門学校とどれだけ違うのかを生徒に分かる形で伝えていくことが重要
- ・本校から進学している生徒の実態が把握できないために、個人的な回答になってしまい、申し訳ありません。
- ・専門学校が有名なので、短大の特長をもっと告知して欲しい
- ・指定校推薦
- ・大卒で美容が学べる点が一番良い点だと思います。同一年度で2名しか出していないので、試験については何とも言えません。
- ・個性と学力が判別される評価される入試であることを期待します。

12. 総評

- ・本学のアドミッションポリシーと入試方法については、概ね肯定的評価をいただいた。
- ・昨年度は指定校が対象だったこともあり、本学の教育内容に一定の理解があり、学修成果の達成度や高校での学びが本学の学びにつながっているかの項目で概ね好意的評価であった。
今年度は普段本学と接点がない高校も対象であったため、各項目で「3 どちらとも言えない」が多かった。結果的に平均値が昨年比下がることとなった。
- ・一方で、利害関係の無い一般的な高校教員が回答してくれた内容は、良い点だけでなく、参考になるものが多かった。
- ・高校の先生方の意見聴取は、自己点検評価活動に非常に有益と考えられ、来年度以降も引続き実施することとしたい。

以上

令和3年10月吉日

進路指導をご担当される先生方

山野美容芸術短期大学 IR室

(担当：藤野 Tel：042-677-0111)

山野美容芸術短期大学の課題と活性化に関するアンケート調査のお願い

本学の学生募集につきまして、いつも格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。本学としましては、教育内容の充実・向上を図り、学生の満足度向上と社会への貢献に万全を期して行く所存です。

現在本邦で進められている教育改革の流れの中で、学生の出身母体である高等学校の先生方のご意見をお伺いし、その内容を自学の教育内容の見直しにつなげていくことが求められています。つきましては、業務ご多忙のところ恐れ入りますが、裏面のアンケートにお応えいただきますようお願い申し上げます。

アンケート情報につきまして結果は公表しますが、個人が特定されないようにいたします。各項目について、率直なご意見を賜れば幸いです。

以上、よろしくお願ひいたします。

裏面のアンケートへのご回答をお願いいたします。

